

【ろうきん・あとっぽプロジェクト助成事業】

建築科 地域ものづくり活動のご報告

このたび本校建築科は、沖縄県労働金庫様「ろうきん・あとっぽプロジェクト」の助成を受け、地域と連携したものづくり活動を行いました。

① 助成金贈呈式

活動は助成金の贈呈式からスタートしました。

自分たちの企画が地域の皆様に応援していただいていることを実感し、生徒たちも気持ちを新たに活動へ臨みました。

② 夏休みものづくり体験教室（名護市立博物館）

夏休みに、名護市立博物館にて小学生を対象に木工教室を開催しました。

製作したのは「プランターカバーウッドボックス ミニ」。

子どもたちは自分の手で木を切り、組み立て、世界に一つだけの作品を完成させました。完成後はひまわりの種を植え、夏休みの自由研究としても活用できる内容としました。

子どもたちは真剣そのもの。完成したときの笑顔がとても印象的でした。

建築科の生徒が工具の使い方や安全面を説明し、製作をサポートしました。



③ 小学校図工授業のお手伝い

2学期には、市内小学校4年生の図工授業で木工活動のサポートを行いました。

のこぎりの使い方や材料の押さえ方などを一人ひとり丁寧に説明し、安心して作業できるようお手伝いしました。

「教える」立場を経験することで、生徒たちにとっても大きな学びとなりました。



■ 助成金の活用について

今回の助成金は、以下の物品購入に活用させていただきました。

- ・ 木材
- ・ ビス、釘等の消耗品
- ・ のこぎり、かなづち等の工具類
- ・ クランプ、やすり等の補助工具
- ・ 安全保護具
- ・ 種、培養土 等

必要な資材を整備することで、安全で充実した学習環境を整えることができました。

本活動は、生徒にとって初めて企画から運営までを主体的に行う地域貢献活動となりました。

地域の子どもたちからは、「楽しかった」「またやりたい」といった声が寄せられ、ものづくりの楽しさを伝えることができました。

沖縄県労働金庫様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今後も地域と連携しながら、ものづくりを通した学びを広げてまいります。